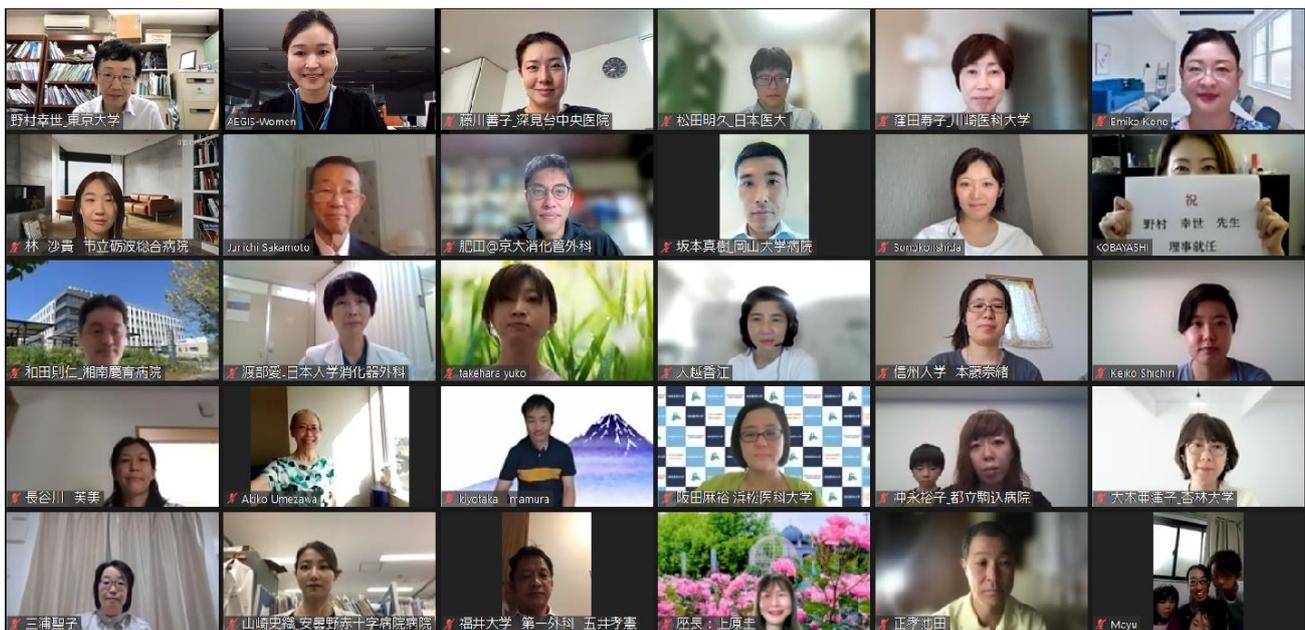


AEGIS-Women 第6回総会（オンライン朝食会@Zoom）のご報告



2022年7月23日、消化器女性外科医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）総会をオンライン朝食会として開催いたしました。正会員の出席者30名、委任状38通につき、会則第四章第十二条（1）の総会成立に関する項目を満たしており、野村会長により開会の宣言が行われました。2021年度の会計報告・事業報告および2022年度の予算・事業予定について承認されました。

総会に参加された先生方よりご寄稿をいただきました。



「AEGIS-Women 会員総会に参加して」

在沖縄米国海軍病院 七里 圭子 先生

在沖縄米国海軍病院の七里圭子と申します。この度はAEGIS-Women ニュースレターへの寄稿の機会を頂きありがとうございます。

2020年に初めて朝食会に参加させて頂き、今回で3回目の参加となりました。直接お会いしてお話出来ないのは大変残念ですが、現在沖縄に住んでいることもあり、オンライン開催の大きな恩恵を受けています。近況報告では、アカデミ

ア・臨床など様々な場で活躍されている先生方から、キャリア形成で苦労されていることや、如何に困難を乗り越えてきたかなどのお話をお聞きして、また明日から頑張ろう、と勇気を貰いました。AEGIS-Women に初めて参加した2年前は、後期研修最後の年で将来について悩んでいた時期でした。職場で上手くロールモデルを見つけることが出来ず、研修医ではなくスタッフ・指導医として働いている自分の将来が全く想像できず途方に暮れていたのですが、朝食会で多くの先輩方の姿を見て、自分も消化器外科を続けられるかもしれない、と勇気を貰ったのを覚えています。

現在は在沖縄米国海軍病院で通訳等の仕事をしながら、アメリカ臨床留学を目指しています。消化器外科や手術の執刀からは離れる形になりますが、離れることでまた手術に戻りたいという自分の中の熱意も確認出来ました。また、キャリアの途中で手術・臨床から一時的に離れる理由は出産・育児だけでなく、性別や生き方に限らず誰にでも起こり得ることで、戻ろうと思った時にそれを可能にするサポートシステムの重要性を再認識しました。COVID-19 Pandemic が落ち着いて、また朝食会で実際に皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

## 「AEGIS-Women 第6回会員総会に参加して」

浜松医科大学 外科学第二講座

阪田 麻裕 先生



はじめまして。初めて会員総会に参加させていただきました。これまで勤務してきた病院では、女性の消化器外科医は少数でした。本会員総会では、温かく和やかな雰囲気の中、数多くの先生方の近況報告をお伺いできる機会があり、大変勉強になり、励みになりました。オンラインではなく現地開催であれば、きっと話が尽きないだろうと思いました。

私は、大学病院で下部消化管外科を専門に、外来・内視鏡検査・手術など臨床に携わりながら、教育や研究に従事する機会をいただいております。臨床では、技術認定医取得に向けたチーム作り・関連施設におけるオンラインビデオクリニックの立ち上げ、ロボット手術の勉強も始めました。

婚姻の有無・子供の有無などによって、働き方が変わることは必然だと思っています。子育て期とキャリア形成期は重なるため、性別に関わらず、子供を産み育てる人が子育て・家庭と仕事の両立に少しでも悩まなくてすむような社会が期待されます。子供が、保育園、小学校・・・と成長するにつれ、様々な悩みや課題がでてきます。現在は、多くの方々に支えていただき、それらを解決しながら仕事に従事できることに感謝しています。

子供の就学に際し、浜松市は学童保育の待機児童数が全国最下位の政令市であったことや、放課後児童会が利用しにくいという問題に直面しました。そこで、大学内にワーキンググループを立ち上げ、今年の夏期休暇中に大学内に学童保育を開設するに至りました。

「誰かが何かをしてくれるのを期待したり待ったりしても何も変わらない。ダメもとでも自分で道を切り開くしかない」という思いで臨みました。同世代の仲間にアンケートに協力してもらったところ、多くの方が同じような悩みを持っていることが分かりました。ファミリー当直室なるものがあれば、子連れで当直が可能かもしれません。休日の回診や呼び出し時、いつでも利用できる院内託児室や病棟に子供が待機できる空間があればオンコール対応も可能となるかもしれません。全国・地方問わず、学会や研究会などにおいて、オンライン発表が可能なハイブリッド開催が今後も継続されれば、子供が小さい間も参加しやすいと思います。ハンズオンセミナーなど現地参加が望ましい場合でも、子連れ参加が可能なセッションやランチセミナーがあれば、託児所で子供たちが泣いて過ごすことも減るかもしれません。また学校の長期休暇などに合わせた開催日程となれば、より参加しやすくなると思います。

施設やグループを越えた横断的ネットワークである AEGIS-Women は、多様性のあるキャリアパス実現に向けて様々な課題を共有・共感、解決を目指せることが魅力だと感じています。今後ともよろしく願いいたします。



## 湘南慶育病院 外科 和田 則仁 先生

パシフィコ横浜で遠藤格教授が主宰された第77回日本消化器外科学会総会が盛会に終了した翌日の2022年7月23日、すなわち土用の丑の日の早朝に開催された AEGIS-Women 第6回総会に参加させていただきました。COVID-19の終息が見通せない中、総会はオンライン開催でした。恒例の朝食会が過去最大の熱気に包まれたのも、オンラインだからこそ参加できた方の存在が大きいのかもかもしれません。

私と本会の出会いは、発足時に消化器外科学会の企業ブースで野村幸世会長から「あなた入んなさいよ」と声をかけていただき、会費を徴収されたことがきっかけでした。その後、2018年4月6日、國土典宏先生が主宰された第118回日本外科学会定期学術集会で、野村幸世会長のご指導のもと当時医学部2年生の愛娘・美紅が10ミニッツセミナーで「女子医学生が考える将来の理想の家庭」と題して発表させていただいたことも大切な思い出です。2020年当教室が担当させていただいた第120回日本外科学会定期学術集会の10ミニッツセミナーのお手伝いや、日本内視鏡外科学会医工学連携委員会の副委員長として女性医師企画における連携・参画推進、2021年11月の土田明彦教授主宰の第83回日本臨床外科学会総会でのハンズオンセミナーの企画（結果的に学術セミナーとなりました）など、いろいろと関わる機会をいただいています。

本会からクオリティの高い論文が出たり、野村幸世会長が日本消化器外科学会理事に就任されたりするなど、年々アクティビティが高まっていることは素晴らしいと思います。私儀、日本ヘルニア学会で女性医師参画促進委員会の担当理事を拝命しております。本会と連携して女性外科医も男性外科医もワークライフバランスを大切にしながら、最高の外科医療を患者さんに提供できる環境整備に貢献できれば幸いです。

編集担当：松永理絵 大越香江